

しょう6りか「ものの燃え方と空気」その3

なまえ _____ がつ にち てん _____ / 20

1 ものが燃えるのに必要な3つの条件にあてはまらないものは？

ア 酸素 イ 燃えるもの ウ 水 エ 発火点以上の温度 こたえ _____

2 ちっ素の性質として正しいのは？

ア ものを激しく燃やす イ 石灰水を白くする ウ ものを燃やすはたらきがない
エ それ自身がよく燃える こたえ _____

3 木を蒸し焼きにして作る、煙の少ない燃料は？

ア 鉄 イ 木炭(炭) ウ 石灰石 エ ガラス こたえ _____

4 燃やす前の空気を入れたびんに石灰水を入れてふると？

ア 白くにごる イ ほとんど変化しない ウ 赤くなる エ 青むらさき色になる
こたえ _____

5 空気中に体積でおよそ21%含まれる気体は？

ア 二酸化炭素 イ 水蒸気 ウ 酸素 エ ちっ素 こたえ _____

6 ものが燃えるときに出る熱を利用しているのは？

ア 扇風機で風を送ること イ ガスコンロでの料理 ウ 電卓で計算すること
エ 冷蔵庫で冷やすこと こたえ _____

7 燃えたあとに残る「灰」について正しいのは？

ア 燃え残り、もう燃えにくい イ 水になる ウ 酸素をたくさん出す
エ もう一度よく燃える こたえ _____

8 水の中で気体を集めるとき、はじめに集気びんを水で満たしておくのはなぜ？

ア びんの中の空気を追い出すため イ 集める気体に色をつけるため
ウ 集める気体を冷やすため エ びんがわれないようにするため こたえ _____

9 たき火^びのとき、木^きをすきまをあけて組^くむのはなぜ？

ア 見た^み目がきれいだから イ 空^{くう}気^き(酸^{さん}素^そ)が通^{とお}ってよく燃^もえるから

ウ 水^{みず}が入^{はい}らないようにするため エ 木^きが節^{せつ}約^{やく}できるから こたえ _____

10 もの^もが燃^もえるときに使^{つか}われる気^き体^{たい}は？

ア ち^そっ素^そ イ 二^に酸^{さん}化^か炭^{たん}素^そ ウ 水^{すい}素^そ エ 酸^{さん}素^そ こたえ _____

11 酸^{さん}素^そや二^に酸^{さん}化^か炭^{たん}素^その割^{わり}合^{あい}を調^{しら}べる道^{どう}具^ぐは？

ア 虫^{むし}めがね イ 温^{おん}度^ど計^{けい} ウ メスシリンダ^ー エ 気^き体^{たい}検^{けん}知^ち管^{かん} こたえ _____

12 燃^もえたあとの空^{くう}気^きに酸^{さん}素^そが残^{のこ}っているか調^{しら}べるとき、燃^もえる前^{まえ}と比^{くら}べる道^{どう}具^ぐは？

ア 方^{ほう}位^いじしん イ もの^さし ウ 気^き体^{たい}検^{けん}知^ち管^{かん} エ ばねばかり こたえ _____

13 びん^{なか}の中^もでろうそく^{じっけん}を燃^{ただ}やす実^{じゅん}験^{ばん}の、正^{ただ}しい順^{じゅん} 番^{ばん}は？

ア ふた^{ふた}をす^{する} → ようす^{ようす}をみ^{みる}る → 火^ひをつ^{つける}ける イ ふた^{ふた}をす^{する} → 火^ひをつ^{つける}ける → びん^いに入^いれる

ウ 火^ひをつ^{つける}けてびん^いに入^いれる → ふた^{ふた}をす^{する} → ようす^{ようす}をみ^{みる}る

エ ようす^{ようす}をみ^{みる}る → ふた^{ふた}をす^{する} → 火^ひをつ^{つける}ける こたえ _____

14 ろうそく^{ろうそく}が燃^もえ続^{つづ}けると、ろう^{ろう}はど^どうな^なる？

ア か^かたい炭^{すみ}に^か変わる イ ま^まったく^か変^かわら^らない ウ 少^{すこ}し^{すこ}ず^ずつ^つ増^ふえて^ふいく

エ 少^{すこ}し^{すこ}ず^ずつ^つ減^へって^へいく こたえ _____

15 もの^もが燃^もえる条^{じょう} 件^{けん}のう^うち、「燃^もえるも^もの」にあ^あたるの^のは？

ア 木^き イ 高^{たか}い温^{おん}度^ど ウ 石^{いし} エ 酸^{さん}素^そ こたえ _____

16 割^わりばし^{りばし}を ほ^{そと}のお^{がわ}の外^う側^{がわ}と内^{おな}側^{がわ}に同^{おな}じ時^じ間^{かん}入^いれると、こ^{かた}げ方^{かた}は？

ア 同^{おな}じよ^ううに^うこ^{がわ}げる イ ど^どち^ちら^らも^もこ^{がわ}げ^{はや}ない ウ 内^{うち}側^{がわ}の^はう^はが^は早^{はや}く^くこ^くげる

エ 外^{そと}側^{がわ}の^はう^はが^は早^{はや}く^くこ^くげる こたえ _____

17 大^{おお}きさ^{きさ}のち^ちが^がう^うび^びん^んで、ろ^ろう^うそ^そく^くが燃^もえる時^じ間^{かん}を^を比^{くら}べる。変^かえる条^{じょう} 件^{けん}は？

ア ふ^ふた^たの^のしか^かた イ ろ^ろう^うそ^そく^くの^の太^おさ ウ び^おん^おの^の大^{なが}き^きさ エ し^しん^んの^の長^{なが}さ こたえ _____

18 ^{きたい けんち かん つか}
気体検知管を使うとき、はじめにすることは？

^{けんち かん みず} ア 検知管を水につける ^{けんち かん りょう お} イ 検知管の両はしを折る ^{さいしゅ き ひ} ウ 採取器のハンドルを引く

^{め よ} エ 目もりを読む こたえ _____

19 ^{にさんかたんそ い ひ い}
二酸化炭素だけを入れたびんに、火のついたろうそくを入れると？

^{はげ も} ア 激しく燃える ^{ひ き} イ すぐに火が消える ^{も かた か} ウ 燃え方は変わらない ^{おお} エ ほのおが大きくなる

こたえ _____

20 ^{さんそ せいしつ ただ}
酸素の性質として正しいのは？

^{じしん も} ア それ自身がよく燃える ^も イ ものを燃えにくくする ^も ウ ものを燃やすはたらきがある

^{せっかいすい しろ} エ 石灰水を白くにごらせる こたえ _____

こたえ しょう6 りか「ものの燃え方と空気」 その3

- | | | | |
|----|---------------------|----|-----------------------------------|
| 1 | ウ 水 | 12 | ウ 気体検知管 |
| 2 | ウ ものを燃やすはたらきがない | 13 | ウ 火をつけてびんに入れる → ふたをする →
ようすを見る |
| 3 | イ 木炭(炭) | 14 | エ 少しずつ減っていく |
| 4 | イ ほとんど変化しない | 15 | ア 木 |
| 5 | ウ 酸素 | 16 | エ 外側の ほうが早くこげる |
| 6 | イ ガスコンロでの料理 | 17 | ウ びんの大きさ |
| 7 | ア 燃え残りで、もう燃えにくい | 18 | イ 検知管の両はしを折る |
| 8 | ア びんの中の空気を追い出すため | 19 | イ すぐに火が消える |
| 9 | イ 空気(酸素)が通ってよく燃えるから | 20 | ウ ものを燃やすはたらきがある |
| 10 | エ 酸素 | | |
| 11 | エ 気体検知管 | | |